

仙北市長 門脇光浩

「梅雨によみがえる想い」

まだ人生を振り返る年齢ではないと思っています。それでも、これまでの所行を思い出すと、恥ずかしいこと、悔いて生きなければいけないことが山ほどあります。今日、何とか過ごしていただけるのは、新しい出来事に忙殺されたり、失敗や羞恥の輪郭を、次第にぼかしてくれる時間の優しさがあるのだと思います。

でも最近になり、どういうわけか忘れかけていた想いの断片がよみがえります…。

高校時代、自転車旅行で訪ねた洞爺湖での事

故。水上スキーをしていた若者が、目の前の岸壁に激突し、湖水を赤く染めて少しずつ沈んで行く、ただ、その有様を立ちすくみ見ているしかなかった意気地なさ…。

県議会で、予算特別委員会の副委員長ポストが割り当てられた時。本当は推薦したかった他議員が頭の中にイメージできているのに、声がかかると、その議員を推薦しないで自分が引き受けてしまった虚栄心。

全く不規則で、家を空けてばかりの毎日で、農業も家事も、さらには信条としていた子育ても家人に任せたまま、ありがたい言葉を口にできない不甲斐なさ…。

梅雨は、いろんなことを考えるには良い季節です。肌を感じる湿り気が、心のヒダにも染み込んで、忘れてはいけない大切な想いを呼び戻してくれます。

がんばる！女性消防団

6月9日に角館消防署で、6月29日に岩城の消防学校を会場に行われる、消防救助技術秋田県大会の選考会がありました。角館消防署長から、ご招待いただいて見学させていただきました。

正直、テレビ等でしか見たことがなく、なかなか見れる機会はないので、今回ぜひにと思い、女性消防団全員で、お邪魔させていただきました。このような機会を作っていただき、本当にありがとうございました。

間近で見たのは初めてでしたが、とても迫力があり、とても感動

しました。女性の消防士の方もいて、男性の中に混じって競技していましたが、負けな



いくらいとても格好良かったです。秋田県大会に出場することも決まったそうで、同じ女性として、ますます応援し

たくなりました。毎日の訓練は、本当に大変なのだと思いますが、こういう方々に守られているので、私達は安心して暮らしていけるのだと、改めて感じ、本当に心強く思いました。

仙北市の女性消防団も2年目に入り、少しずつですが、活動の場が増えてきたように思います。今は広報活動やサポート役等が主ですが、AED講習や、非難訓練等も今後行っていく予定です。

そして、女性消防団に新しい仲間が加わりました。5月1日付で入団した、中野美喜さんです。



中野さん

女性消防団は現在8人になりました。人数が増え、私達にもできることが多くなっていきます。少しでも多くの地域の方々に消防団の活動を身近に感じて、興味を持っていただければと思います。

これからも、よろしくお願いします。

橋本 由佳乃